

のばこども 通信

発行：社会福祉法人 和枝福祉会
のばこども家庭支援センター
横浜市港南区野庭町631
発行責任者：高橋 智一

令和2年7月 第24号

のばこども家庭支援センターは18歳未満の児童に関する相談を受ける児童福祉法第44条の2で規定されている児童家庭支援センターです。

突然の学校休業、三密を避けた自粛生活など生活の一変に戸惑い、不安も大きかったと思いますが、新型コロナウイルスの第一波をのりこえ、少しずつ生活の幅も広がりつつある日々かと思えます。

学校の休業、保育園の登園自粛とお子さんと過ごす時間が増えたご家族も多かったのではないのでしょうか。毎日お子さんと過ごすことで、お昼ご飯を考えるのが大変、イライラしてしまうなど、お困りのこともあったかと思えます。一方でお子さんと一緒に取り組むことが増え、こんなことが出来るようになったとお子さんの成長を改めて感じ喜ばしい思いに包まれた方も多かったのではないのでしょうか。

新入学、新入園のお子さんたちは、新しい生活に希望や思いを膨らませていたところに思いも掛けないお休みの長期化で、残念な思いや戸惑い、不安も大きかったのではと思います。

新しい生活スタイルの中での子育てに新たな不安や戸惑いがおこると思います。ご家族の悩み等の解決に向けて、身近な相談機関としてその役割を果たせるよう、またお子さん達の学ぶ力育つ力を大切に、お子さん達との関係も一層を深めていけるよう取り組んでまいります。

のばこども家庭支援センター長

のばこども日記

子育て短期支援事業の様子を紹介(*^_^*)

梅雨に入り、湿度も気温も高い日が多くなってきました。この季節は憂鬱な気分になる大人も多いと思いますが、のばこどもに来ているお子さんは、変わらず元気いっぱい遊んでくれています。

身体を動かすことや外に出て遊ぶことが大好きな子は多いですが、天候や感染症のせいで遊びが限られてしまっても、そのときの状況でできる遊びを柔軟に考えてくれています。職員は子どもたちの発想の豊かさに驚かされる日々です。

とはいえ、お家でも学校や保育所などでも制限が多くなるざるを得ない状況は、子どもにとってもストレスとなるはず。一刻も早く、好きな遊びが思い切りできるようにすることを願っています。

復職しました



産育休の為お休みを頂き5月に復職しました川島です。自宅で子どもと過ごす幸せな時間はあっという間に過ぎ、現在娘は1歳8カ月になりました。母になり子育ての楽しさや大変さを実感する毎日です。周りの助けを借りながら新たな気持ちで取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願ひします。

想 感 考 望

のばこども職員のひとりごと...

私の秘かな楽しみは、通勤時の公園にあります。お隣の公園には猫ちゃんがたくさん住んでいて、たまに猫ちゃんに出会うことがあります。猫ちゃんを見つけた日はラッキーデイと自分の中で勝手に決めていて、いつのまにか毎日公園を通ることが楽しみになっています。でも、最近はコバエが多くて...。マスクのおかげで口に虫が入ることは避けられますが、目や髪の毛に飛んでくるので、困っています。それでも、日課になっている猫ちゃん探しはやめられないですね〜。

絵本の紹介

じごくのラーメンや

作：苅田 澄子

絵：西村 繁男

教育画劇 2010年



地獄にいる人達に「地獄きらいー」「天国がいいー」と文句を言われ悔しい閻魔様、なんとラーメン屋さんを始めます。からーいラーメンを食べられた人は天国へ行ける！？香りに誘われ天国からもお客さんが！？そして完食をした人とは...！予想外の展開に思わず笑ってしまいます。そして何より真っ赤なラーメン、とっても美味しそうです🍜♪

のばこども家庭支援センター
☎045-840-5092



◆子ども本人及び子育て家庭の相談・支援◆
月曜日から土曜日まで（祝日、年末年始除く）
受付時間：9時～17時

